

# フィールド・スタディ / プロジェクト研究 2018 年度冬季実施プログラム 募集要項

| 募集期間                         | 派遣期間          | 募集プログラム |
|------------------------------|---------------|---------|
| 2018/10/10(水)～10/24(水) 16:30 | 2018 年度冬セッション | P.4 参照  |

国内外で実践と  
研究を深めるプログラム



## フィールド・スタディ / プロジェクト研究とは

### 科目概要と授業の特色について

#### 【フィールド・スタディ】

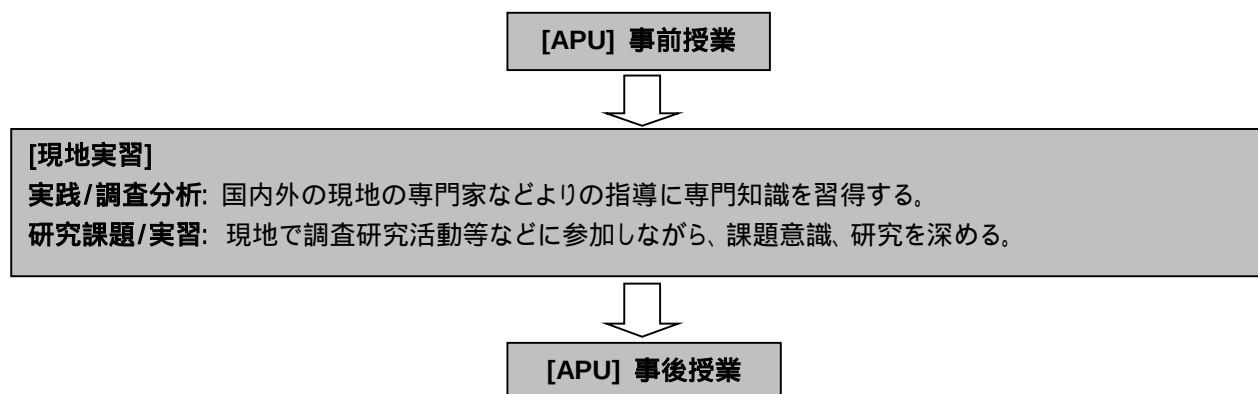
実践的な学び“Off-Campus Study Program”の一つ、フィールド・スタディは、学生が興味、関心を持つ学習テーマについて、より高い学習効果を得られるよう、教員の指導のもとに国内外での社会問題の研究などに取り組む実践型のプログラムです。また、事前・事後の授業に参加することにより、学習テーマをさらに深めるだけでなく、将来、研究やキャリア形成に求められる力を養います。

#### 【プロジェクト研究】 今回の募集はありません。

プロジェクト研究は、専門演習(ゼミ)を履修する3、4回生の学生を対象とした連携型プログラムです。プログラムはプロジェクト研究担当教員のゼミを履修する学生を対象に、国内外で実施しています。学生はゼミの授業に加え、プロジェクト研究に参加することで、自身の研究課題に対してより深い専門知識を修得し、その後の卒業論文の執筆へと繋げています。

＊ 「プロジェクト研究」の英語表記はカリキュラムによって異なりますので注意してください。

- 2011 年度カリキュラム: Applied Training
- 2017 年度カリキュラム: Field Research Project



## フィールド・スタディ 科目概要

- ・ 受講者の選考にあたっては、開講学部には所属する学生が優先される場合もありますが、開講学部の所属学生以外も申請できます。

### プログラム別ごとの対象と成績 (2011 / 2017 年度カリキュラム学生共通) – 秋セメスターの場合

| 区別        | フィールド・スタディ<br>種類                     | 配当<br>回生         | 学修期間<br>(事前/実習/事後) | 対象セメスター<br>(申請時) | 成績授与<br>セメスター | 成績発表時期                      | 成績評価           | 履修登録の<br>上限単位数に |
|-----------|--------------------------------------|------------------|--------------------|------------------|---------------|-----------------------------|----------------|-----------------|
| セメスター開講科目 | APS フィールド・スタディ以外の<br>全てのフィールド・スタディ科目 | 2 回生<br>以上配<br>当 | 10～3 月             | 3～7 セメ           | 2018 秋        | 2019 春 修正期間 2               | A+、A、B、<br>C、F | 含まれません。         |
|           | 2017 年度カリキュラム科目<br>「APS フィールド・スタディ」* |                  | 11～6 月頃            | 2～7 セメ           | 2019 春        | 2019 春 成績発表<br>(2019 年 9 月) |                |                 |
| セッション開講科目 | APS フィールド・スタディ以外の<br>全てのフィールド・スタディ科目 |                  | 2～3 月              | 3～7 セメ           | 2018 秋        | 2019 春 修正期間 2               |                |                 |

\* 2017 年度カリキュラム科目「APS フィールド・スタディ」は、2011 年度カリキュラム学生も申請可能です。

### 科目集計分野

#### [2011 年度カリキュラム]

| プログラム開講学部 | APS 学生 | APM 学生 |
|-----------|--------|--------|
| APS       | 専門教育科目 | 自由選択   |
| APM       | 自由選択   | 専門教育科目 |

#### [2017 年度カリキュラム]

| プログラム<br>開講学部 | 科目名                        | APS 学生      |       |       |        |        | APM 学生      |
|---------------|----------------------------|-------------|-------|-------|--------|--------|-------------|
|               |                            | APS<br>専門教育 | ED 専門 | HT 専門 | IRP 専門 | CSM 専門 | APM<br>専門教育 |
| APS           | APS フィールド・スタディ             | ○           | -     | -     | -      | -      | 他学部科目       |
|               | 環境・開発フィールド・スタディ (ED)       | ○           | ○     | -     | -      | -      |             |
|               | 観光学フィールド・スタディ (HT)         | ○           | -     | ○     | -      | -      |             |
|               | 国際関係フィールド・スタディ (IRP)       | ○           | -     | -     | ○      | -      |             |
|               | 文化・社会・メディアフィールド・スタディ (CSM) | ○           | -     | -     | -      | ○      |             |
| APM           | APM フィールド・スタディ             | 他学部科目       |       |       |        |        | ○           |

## プロジェクト研究 科目概要

**秋セメスターの場合** 今回の募集はありません。

| 区別        | 種類       | 配当回生     | 学修期間<br>(事前/実習/事後) | 対象セメスター<br>(申請時) | 成績授与<br>セメスター | 成績発表時期 | 成績評価           | 履修登録の<br>上限単位数の上限 |
|-----------|----------|----------|--------------------|------------------|---------------|--------|----------------|-------------------|
| セッション開講科目 | プロジェクト研究 | 3 回生以上配当 | --                 | --               | --            | --     | A+, A, B, C, F | 含まれません。           |

### 科目集計分野

| プログラム開講学部 | APS 学生 | APM 学生 |
|-----------|--------|--------|
| APS       | 専門教育科目 | 自由選択   |
| APM       | 自由選択   | 専門教育科目 |

## 申請要件

### フィールド・スタディ

- ・ 申請セメスター(2018 秋)に、通常在籍していることが必要です。
- ・ 「APS フィールド・スタディ」に関しては、申請セメスター(2018 秋)および次セメスター(2019 春)ともに通常在籍状態であることが必要です。
- ・ 申請セメスター(2018 秋)に、在籍状態が「留学」「休学」「停学」「退学」となる場合は受講不可です。  
( 留学中で第 2 クォーター復帰予定の学生が申請を希望する場合は個別お問い合わせください。 )
- ・ 申請セメスター(2018 秋)が、最終セメスターの場合は申請不可です。

### [言語要件 (全プログラム共通)]

日本語基準学生(スタンダードトラック)が英語開講プログラムを受講する場合

英語中級 A・B の単位を修得していることが必要です。

英語基準学生が日本語開講プログラムを受講する場合

日本語で授業が行われますので、授業内容を理解することができる程度の日本語能力が必要です。(目安)

### プロジェクト研究 今回の募集はありません。

- ・ 担当教員のゼミに所属していれば、所属学部は関係なく申請できます。
- ・ 申請セメスターで、プログラム担当教員の 3・4 回生演習科目を履修中であり、次セメスターも同演習を継続する意思があること。  
(3・4 回生演習科目にはサブゼミも含まれます。)

### [その他]

- ・ 上記以外、プログラム別に設けられた申請条件は、それぞれのシラバスで確認してください。
- ・ 受講許可(合格)なしでのプログラムへの参加は一切認められません。

## 募集プログラム

### フィールド・スタディ

| 開講<br>学部 | 学修<br>分野 | プログラム名                                                                                             | 区別                            | 担当教員               | 実習地         | 単位<br>数 | 開講<br>言語 | 上限<br>単位数 |
|----------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|--------------------|-------------|---------|----------|-----------|
| APM      | -        | IT ビジネスとスタートアップ                                                                                    | セッション開講科目                     | 佐藤 浩人              | 福岡          | 2       | J        | 含まれない     |
| APM      | -        | Fashion 101:<br>Entrepreneurship, Production, and Business Management                              | セッション開講科目                     | CORTEZ Michael. A. | フィリピン       | 4       | E        | 含まれない     |
| APS      | -        | 国際機関の役割と活動                                                                                         | セメスター開講科目<br>(APS フィールド・スタディ) | 須藤 智徳              | 東京、スイス、フランス | 2       | E/J      | 含まれない     |
| APS      | IR       | 沖縄から考える戦争と平和                                                                                       | セッション開講科目                     | 総田 芳憲              | 沖縄          | 2       | J        | 含まれない     |
| APS      | CSM      | Experiencing Media, Culture and Creative: Television,<br>Film, Photography and Theatre of Slovakia | セッション開講科目                     | MANTELLO Peter A.  | スロバキア       | 4       | E        | 含まれない     |

### プロジェクト研究

今回の募集はありません。

| 開講<br>学部 | プログラム名 | 担当教員 | 実習地 | 単位数 | 開講<br>言語 | 上限<br>単位数 |
|----------|--------|------|-----|-----|----------|-----------|
| --       | --     | --   | --  | --  | --       | --        |

### [注意]

- 各プログラムの詳細は、必ずシラバスで確認してください。シラバスはアカデミック・オフィスホームページに掲載しています。(URL は P.5 に掲載)

## 募集概要

### 募集プログラム

今回募集するプログラムは、「募集プログラム」(P.4)で確認してください。

### 複数のプログラムへの申請について

- ・ 申請条件を満たす場合、複数プログラムへの申請が可能です。その場合、申請する全てのプログラム分のオンライン申請をしてください。なお、オンライン申請の際、入力開始画面で「複数のプログラムに申請している場合、回答してください。」という問いが表示されますので、必ず必要事項を入力してください。
- ・ シラバスに記載されている事前・事後授業や実習期間が重複している場合、「申請条件を満たしている」とはいえません。複数プログラムに申請する場合は、これらスケジュールを十分確認の上、申請してください。
- ・ オンライン申請において、「この申請プログラムは第1志望です。」、または、「複数合格した場合、全てのプログラムへの参加を希望します。」を選択していた場合も、申請したプログラム同士、実習・授業等の期間が重複している場合は、申請条件を満たしていないとみなし、複数プログラムへの申請を受理しません。

### 申請要件

- ・ 「科目概要」(P.2～3)を確認してください。

### 申請方法

各設定期間中に、以下 **2つのStep** を行ってください。

2つのStepとも完了していない場合は、申請不備となり受付することができません。ただし、Step1が完了した時点で、選考手続きは開始しますので、申し込みを取り消す場合はアカデミック・オフィスに申し出てください。

**Step 1:** 指定のウェブサイト(下記)からオンライン申請してください。ウェブサイトは募集期間開始と同時にアカデミック・オフィス HP 上に公開します。

- ・ ウェブ申請のプロセスで、以下が必要になります。予め準備の上、申請してください。
  - (1) 志望理由等
  - (2) 顔写真
  - (3) パスポートの顔写真ページ (海外プログラムのみ)
- ・ アカデミック・オフィス HP: <http://www.apu.ac.jp/academic/page/content0017.html>



**締切: 2018 / 10 / 10 (水) ~ 10 / 24 (水) 16:30**

#### パスポートについて(海外実施プログラムのみ)

各国の定めるパスポートの有効期限を確認し、現在持っているパスポートが派遣国・地が指定する期限を満たしていない場合、速やかに更新手続きをしてください。

#### パスポートコピー/顔写真のアップロードについて

ファイルは、以下の例に習ったファイル名で保存した上で、アップロードしてください。

- ・ [パスポート] Passport\_氏名\_学籍番号 (例: Passport\_YamadaTaro\_11223344.pdf)
- ・ [顔写真] Photo\_氏名\_学籍番号 (例: Photo\_YamadaTaro\_11223344.pdf)

**Step 2:** 誓約書をアカデミック・オフィス内に設置しているポストに投函してください。

- ・ 学生本人、及び保証人(保護者) **両者の直筆署名**が必要です。
- ・ 学生署名欄は学生本人が、保証人署名欄は保証人本人が記入します。
- ・ 学生本人・保証人それぞれが直筆の署名・押印をした原本を提出してください。
- ・ 印鑑は学生本人・保証人が異なるものを使用してください。(国際学生の保証人については、直筆の署名のみで構いません。(押印欄に必ずサインをしてください。))
- ・ 学生本人と保証人の署名が直筆でない場合、筆跡が同じと判断される場合、申請を受理しません。
- ・ 誓約書フィールド・スタディページよりダウンロードできます。

**締切: 2018 / 10 / 10 (水) ~ 11 / 7 (水) 16:30**

## 募集ガイダンス日程

日にち: 2018 年 10 月 10 日(水) 時間: 16:45 ~ 17:45  
場所: F213 (日本語) / F214 (英語)

## 選考方法

- ・書類審査による総合的な選考を行います。
- ・必要に応じて、面接を行います。その場合は、申請後に別途連絡します。
- ・申請者が多い場合、各プログラム実施学部所属学生を優先する場合があります。

## 選考期間

2018 年 10 月 25 日(木) ~ 11 月 7 日(水)

## 選考結果発表

2018 年 11 月 8 日(木)午後 Campus Terminal で通知

## 受講者ガイダンス

2018 年 11 月 14 日(水)5 限  
(時間と教室は Campus Terminal で案内通知)

## 危機管理ガイダンス (海外プログラムのみ)

2019 年 1 月 23 日(水) 5 限  
(日程、教室は Campus Terminal で案内通知)

---

## 参加条件

---

### 1. 経費

#### プログラムに要する費用

- ・プログラム参加には規定のプログラムに要する費用を支払う必要があります。詳しくは、各プログラムのシラバスを参照して下さい。
- ・プログラムに要する費用や支払い期限は、受講者決定後 11 月末までに決定し、Campus Terminal または APU メールを通じて通知します。
- ・支払い期限は 12 月中旬です。
- ・支払い期限までに支払いがされない場合、支払い期限日翌日を以ってプログラムへの合格が取り消されます。その場合、「参加辞退」と同様の扱いとし、既に発生した費用は学生本人が負担し、成績評価は「F」となります。(プログラム費確定: 11 月末(予定) / プログラム費支払い期限: 12 月中旬(予定) / プログラム費概算はシラバスを参照。)

#### 保険

個人で既に加入している場合も含め、APU 及び派遣先大学が指定する国内・海外旅行保険、また実習地が海外の場合は JCSOS 危機管理システム(J-TAS)等への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、受講者ガイダンスで説明します。

### 2. 参加において必要な手続き等

#### 航空券・渡航

[国内実施プログラムの場合]

- ・担当教員の指導の下、個人で手配をする必要があります。

[海外実施プログラムの場合]

- ・航空券の手配、支払い方法は、受講決定後、プログラム毎に連絡します。  
(渡航スケジュールは本学が指定します。)
- ・現地集合、現地解散はできません。また、個人都合による行程の変更をすることはできません。

### **査証(ビザ)**

- ・ 派遣先の国や地域、国籍によって、渡航前にビザを取得しなければならない場合があります。
- ・ ビザ申請は、派遣先の国や地域の条件に応じて、1)本学が一括して取りまとめ、指定のビザ代理申請会社を通じて申請する場合、2)学生個人で手配をする場合の2通りがあります。
- ・ ビザ申請に関する詳しい情報は、選考結果発表後に大学からお知らせします。
- ・ ビザは、派遣先の国や受講者の国籍、その他様々な事情により取得が困難な場合もあります。万一、ビザが取得できない場合は、プログラムに参加することができません。この場合、参加不可に関わる一切の費用(キャンセル料金等)は学生本人の負担となります。
- ・ 円滑なプログラム実施のため、オンラインビザ(到着ビザ)は一切認められません。
- ・ [国際学生のみ] プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の期限を確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、シュチュエント・オフィスで確認してください。

### **予防接種**

受講者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類などを案内します。予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

## **3. 注意事項**

### **プログラム受講決定後の辞退**

- ・ 本学は皆さんがプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。プログラム参加者決定後に人数の変更があった場合、プログラム自体の実施が不可能になることや、他の参加者へ追加料金が課される場合があります。従って、受講決定後の辞退は認められません。
- ・ 申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。
- ・ 選考結果発表後(プログラム受講決定後)に辞退する場合は、辞退する学生本人がキャンセル費用を支払う必要があります。
- ・ 支払い期限内に支払いがされない場合、「辞退」扱いとなり、その時点までに発生した費用は「キャンセル料」として学生本人の負担となります。(プログラム費確定: 11 月末(予定) / プログラム費支払い期限: 12 月中旬(予定) / プログラム費概算はシラバスを参照。)
- ・ 辞退した者の成績評価は原則として F となります。

### **履修科目登録における注意事項**

- ・ 事前・事後授業及びプログラム渡航期間が、正課の講義・補講や定期試験・追試験、履修登録期間などと重なる場合も特別な配慮はありません。あらかじめ学年暦とプログラム渡航期間を確認してください。
- ・ 既に登録済みの2018年度冬セッション科目と、希望するフィールド・スタディ、または、プロジェクト研究のプログラム実施期間(事前授業、実習、事後授業)が重複している場合も、プログラムへ申請することは可能です。ただし、プログラムへの受講が決定した場合は、必ず、各自、履修登録修正期間2で秋セメスター第2クォーター科目・冬セッション科目の履修登録を削除してください。

### **履修計画について**

- ・ 本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。プログラム合格後に問題が判明した場合も、特別な配慮等はしません。自己責任において、プログラムの応募を行ってください。
- ・ 同じ内容のプログラムに複数回参加することは認められません。申請を希望するプログラム内容が、すでに履修済みのプログラムの内容と同一かどうか不明な場合は、事前にアカデミック・オフィスにお問い合わせください。

### **プログラムの中止や内容の変更**

- ・ 参加者の健康や安全を第一優先するため、天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、不可抗力に起因する事態が発生した場合や、最少催行人数(シラバス参照)を満たさないなどの事情によりプログラムの中止や内容の変更を行う場合があります。プログラムの中止や内容が変更になる可能性も念頭においた上で、無理のない履修計画を行ってください。
- ・ 受講態度や出席状況、書類や課題等の提出状況などを勘案し、受講不適当と判断された場合、選考結果発表後であっても、参加者のプログラム受講許可が取り消されることがあります。

### キャンセル料

- ・ 選考結果発表後に受講を辞退する場合、辞退する学生は、その時点までに発生した費用を支払わなければならない。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。
- ・ 既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、一定時間を要します。

## 4. 規律事項について

下記 1～4 の項目を理解し厳守するために、本人および保証人による誓約書を提出してください。

### 1. 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学オフキャンパス・プログラム(以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学(以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関(以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
- (4) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

### 2. 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任で行うこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム(J-TAS)等へ加入すること。(海外プログラムのみ)
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 「オフキャンパス・スタディ・プログラム参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
- (5) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (6) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学および派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。

### 3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用(実習費・宿泊費・交通費・保険料等)は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 募集要項に定める所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへ参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費(派遣先から本学に請求された必要経費を含む)について負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先に損害賠償を要求せず、3.(2)と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等、本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。本学、派遣先はその責任を負わない。

#### 4. 入国・帰国（海外プログラムのみ）

- (1) プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。
- (2) プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。

### その他

#### ・ 個人情報の取扱いについて

プログラム参加に関わる調整・手続きを進める上で、第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、保険会社、大使館、領事館、外務省等)に対して個人情報を提供することがあります。提供する情報には、氏名、性別、国籍、Eメールアドレス、生年月日、パスポート番号、健康に関わる情報があります。

#### ・ 姿勢

プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。特に海外プログラムでは異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。

各自でプログラムの参加目的をしっかりと定めてください。なお、派遣前後に行う事前・事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。

#### ・ プログラム参加の取り消しについて

受講態度や出席状況などを担当教職員が勘案し、受講継続が不適当と判断される場合、参加者のプログラム受講許可を取り消すことがあります。また取り消しの際、既に費用が発生している場合は学生本人が費用を支払う必要があります。当該支払いについては、「3.注意事項、キャンセル料」の内容に準じます。

#### ・ 宿泊

シラバスに掲載されている各プログラムの宿泊形態を確認してください。  
宿泊先では、宿泊施設のルールや指示に従ってください。

### スケジュール

| 日程                              | 内容                                                                     |
|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 10/10 (水) - 10/24 (水) 16:30     | 募集期間                                                                   |
| 10/10 (水) 16:45-17:45           | 募集ガイダンス (場所: 日本語会場 F213 / 英語会場 F214)                                   |
| 10/25 (木) -11/7 (水)             | 選考期間                                                                   |
| 11/7 (水) 16:30                  | 誓約書提出締切                                                                |
| 11/8 (木) 午後                     | 選考結果発表                                                                 |
| 11/14 (水) 5 限                   | 受講者ガイダンス (科目概要、予防接種等)                                                  |
| 11 月末 (予定)                      | プログラム費の連絡                                                              |
| 12 月中旬 (予定)                     | プログラム費支払い、航空券予約及び支払い                                                   |
| 12 月 - 2019 年 2 月<br>(プログラムによる) | APU にて事前授業 (日程はシラバスを参照して下さい。)                                          |
| 1/23 (水) 5 限                    | 危機管理ガイダンス (海外プログラムのみ) (場所 後日連絡)                                        |
| 2- 3 月(または 4 月)                 | 実習及び APU にて事後授業 (プログラムによっては 2019 年度春セメに事後授業実施。日程は各プログラムのシラバスを参照して下さい。) |
| 6 月<br>(履修科目登録修正期間 2)           | 成績発表:<br>「セメスター/セッション開講フィールド・スタディ」、及び「プロジェクト研究」                        |
| 9 月                             | 成績発表:<br>2017 年度カリキュラムにおいて「APS フィールド・スタディ」として開講されるプログラム                |

上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。詳しくは参加決定後にご案内します。

---

## フィールド・スタディ / プロジェクト研究に関する問い合わせ先

---

アカデミック・オフィス B 棟 1 階

TEL 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102

担当者: アカデミック・オフィス 三輪、伊東、大橋

Email: [atfs@apu.ac.jp](mailto:atfs@apu.ac.jp)